

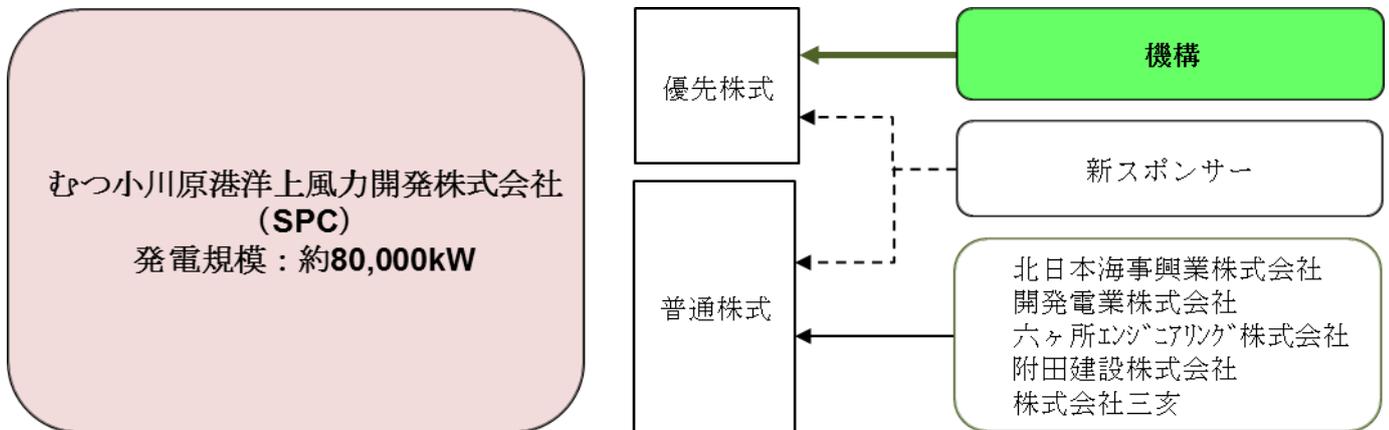
青森県むつ小川原港洋上風力発電事業への出資決定について

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構（代表理事：末吉竹二郎、以下機構）は、北日本海事興業株式会社（所在地：青森県八戸市、代表取締役：柗原大輔）ほか地元企業の計画する洋上風力発電事業に 5 億円の出資を決定したことを公表します^{*1}。

日本国内における風力発電の拡大、ポテンシャルの実現のため、洋上風力発電への期待が集まっています。一方、風況が良い洋上風力発電の適地であっても、事業海域の権利関係の整理、洋上工事に関する技術・コスト面等の課題があり、事業化が進んでいません。機構が着工前の調査・開発段階から出資を行うことにより本事業の事業化が促進され、また、本事業より得られる技術関連情報等が日本型洋上風力発電事業の発展に寄与すると考えられます。機構の参画は、新たなスポンサーの出資や、建設段階における地域金融機関等の融資等の呼び水となることが見込まれます。

なお、本件は業務連携協定^{*2}を締結した株式会社みちのく銀行からの紹介を受け、出資の決定に至ったものです。

1. スキーム概要



(説明)

- ① むつ小川原港洋上風力発電株式会社は青森県むつ小川原港港湾区域内で大型風力発電施設の設置計画を推進します。現在、風力発電設備約 80,000kW を導入する計画を推進中です。
- ② 本プロジェクトにおける年間発電量は 206 百万 kWh(一般家庭 57,222 世帯分の電力)を想定しています。
- ③ 開発段階^{*3}では、地元企業の北日本海事興業株式会社、開発電業株式会社、六ヶ所エンジニアリング株式会社、附田建設株式会社、株式会社三亥及び機構等による出資等により、事業を推進します。今後、建設段階ではプロジェクトファイナンスによる資金調達を予定しています。

2. 出資意義

機構は、主に以下の点を評価し、本件への出資を決定致しました。

- ① 本プロジェクトは国内における本格的商業用洋上風力発電事業であり、本事業より得られる技術関連、事業関連、地域活性化関連等情報が日本型洋上風力発電事業の発展等に寄与すること。
- ② 機構の参画が民間企業や金融機関の出資・融資の呼び水となること。
- ③ 地元企業にて風力発電のメンテナンス対応を行うことで、新たな雇用創出や関連産業の育成など、地域活性化効果が期待できること。
- ④ 二酸化炭素の排出の抑制・削減に寄与すること（本事業による CO2 削減効果は 115,632t-CO2/年を想定）。

※¹平成 27 年度に出資決定を行ったものですが、関係者等との案件公表に係る調整が整ったことから、今般、公表するものです。

※²地域における地球温暖化対策の為の投資を促進し、二酸化炭素の排出削減を推進するとともに、地域資源の有効活用や雇用創出等による地域経済の活性化に寄与することを目的として、機構と株式会社みちのく銀行は平成 29 年 4 月 5 日に業務連携協定を締結しました。相互連携による情報の提供及び共有、対象事業への資金調達支援等について連携することとしています。

＜連携協定に関する機構プレスリリース＞

<http://greenfinance.jp/news/release170407.pdf>

※³開発段階の業務は風況調査、地質・海象調査等です。

お問い合わせ先

一般社団法人グリーンファイナンス推進機構 事業部

電話：03-6257-3863・3864 ホームページ：<http://greenfinance.jp/index.html>
